

# 【 2018 アジア選手権 】

2018年1月18日～1月28日 韓国・水原

## 試合結果報告 1 月 24 日 ( 水 )

J P N	VS	BRN(バーレーン)
13	前半	13
8	後半	16
21	合計	29

### 個人得点

名前	前半	後半	7mTC	合計	
佐々木 亮輔	0	0		0	
宮崎 大輔	1	3		4	
笠原 謙哉	0	0		0	
小賀野 龍也	0	0		0	
部井久 アダム 勇樹	0	0		0	
甲斐 昭人	0	0		0	
植垣 健人	0	0		0	
成田 幸平	1	0		1	
徳田 新之介	1	1		2	
渡部 仁	3	3		6	
土井 レミイ 杏利	0	0		0	
信太 弘樹	1	0		1	
元木 博紀	0	0		0	
玉川 裕康	1	0		1	
東江 雄斗	5	1		6	
門山 哲也	0	0		0	
合計	13	8	0	0	21

### 戦評

準決勝進出か、5-6位決定戦か、どちらに回るかを定める運命の一戦は今季既に何度も対戦しているバーレーンとの対戦となった。お互い手の内を知り尽くした同士の対決は「勝った方が世界選手権出場」となる厳しい対戦。日本はミーティングで激しい接触、スピードある突破で相手を打開することを確認した。試合開始から、GK・甲斐を中心にディフェンスで今大会で最高のクオリティを発揮した日本は、相手の攻撃の芽を完璧に潰して速攻に持ち込む。渡部、成田らで3連取し、開始5分過ぎに4-2とゲームの主導権を握る。攻めでは司令塔・東江がテンポよく得点を稼ぐが、バーレーンもアブドゥルの強烈なシュートで応戦、13-13で前半を折り返す。後半5分過ぎまでは両者互角の展開、精神的なダメージの大きいタフな試合展開となる。このままジリジリと消耗戦にもつれ込むかと思われたが、8分過ぎからバーレーンがアブドゥルの3連打を含む怒涛の5連取で一気に加速。日本も渡部の連取で喰らい付くも、再びバーレーンに3連取され、後半17分17-24と7点ビハインドとなる。何とか奮起したい日本は、キーマン・アルサヤドにマンツーマンを仕掛けたり、GK・佐々木を投入、相手の焦りを引き出そうと試みるも、そこまでは至らず21-29で試合終了、5-6位決定戦に回ることとなった。あと一步のところまで世界選手権への道は断たれた。

報告記入者 :

吉村 晃